

立ち話

◎…東京は中野区のヒルの一角に「ワールドバイオン」
 という、聴覚障害者のための
 情報提供や便利グッズを開発
 ・販売する会社がある。社長
 は、自身も聴覚障害のある中
 園秀喜さん。これまでに開発
 してきたのは、窓口で順番待
 ちの人を無線で振動させ呼び
 出す合図器や、繰り返し磁石
 ペンで文字を書きワンタッチ
 で消せる簡易筆談器などな
 ど。当事者のニーズを聞き商
 品化してきた。その中園さん
 から「活動のかいあって窓口
 のバリアフリー化が少しずつ
 が進みつつあります。空港の
 ANAカウンターなど良い例
 ですが、中野の区役所や図書
 館にも簡易筆談器がありま
 す」と手紙が届いたので、中
 園さんと一緒に、足を運んだ。

◎…まずは中野区役所の福
 祉事業課。窓口で簡易筆談器
 が一つ置かれている。利用頻
 度などについて職員に質問し
 たら「うーん…あまり利用さ
 れてはいませんが、まったく
 利用のない日も少なくないで
 す」とのこと。周辺に活用を
 アピールするプレートなどが
 出ているので「広報は」と
 問うと、「いえ、特には」と
 消極的だ。けれども、簡易筆
 談器が便利で好評であること
 は実感しているという。実際
 使った人がワールドバイオン
 に購入を希望し連絡したこ
 とも数件あるほどだ。

もっ 普及させたい「簡易筆談器」

ただ、問題を感じたのは、
 こういう配慮があるという情
 報が十分に届いたなら「利用
 したい」とどこにでも設置して
 ほしい」と思う人がどれくら
 いいるか意識されていないこ
 と。区役所内で置いているの
 はこの課だけだった。

◎…急遽ほかの課もいくつ
 か訪ねた。しかし、障書福祉
 を名乗らない窓口はみな「聴
 覚障害者はほとんど来ませ
 ん。区役所に手話通訳者はち
 ゃんといます」という反応
 だった。玄関となる総合案内
 所も同様で、福祉事業課が簡
 易筆談器を置いて配慮し始め
 ていることすら知らなかつ
 た。詳しい話は管理者と話を
 するとすめられたので、管
 理室へ移動した。

◎…たまたま二カ所ですべて
 断定するつもりはないが、配
 内も出してこそ重宝される使
 用グッズなのではと問うも
 「ええ、まあ…」
 ◎…たまたま二カ所ですべて
 断定するつもりはないが、配
 内も出してこそ重宝される使
 用グッズなのではと問うも
 「ええ、まあ…」

中園さんは「できれば聴覚
 障害者が窓口などで不便を感
 じているのか、世の中不便で
 も仕方ないものと口をつぐん
 でしまっているのか、なかなか
 理解してもらえない」と悔
 しそうだが、今後も根気強く
 全国の役所や病院、郵便局、
 民間の窓口などに配慮をお願
 いしていくという。けれども
 厳しい場面ばかりではなく
 て、すでにNTTドコモ(関
 東・甲信越、J-R東日本など
 と設置は進みつつあり、着実
 に協力範囲は広がっているよ
 うだ。

私たちは、聴覚障害者とは手
 話でコミュニケーションをと
 るもの、手話に長けているも
 のの思い込んでいる。実は、
 手話を使える聴覚障害者は二
 割ほど。思いがけず聴力を失
 った人や耳の遠いお年寄りな
 どが突然手話を体得できるわ
 けはなく、大半は筆談などで
 コミュニケーションをとって
 いるのだ。

聴覚障がいとは『見えない障がい』です。不便なこと、改善してほしいことなどを行政、議会、施設、交通機関などに要望していただければ嬉しいです。「動かないと何も変わらない」のです。詳しくは下記にお問い合わせください。
 【情報提供】ベターコミュニケーション研究会、聴覚障がいに関わる総合情報誌「いくお〜る」編集部
 URL: <http://www.bcs33.com> E-mail: equal@bcs33.com FAX: 03-3382-6565